

(様式2)

令和5年 5月 11日

女性の就農環境改善計画

(令和5年度女性の就農環境改善支援事業)

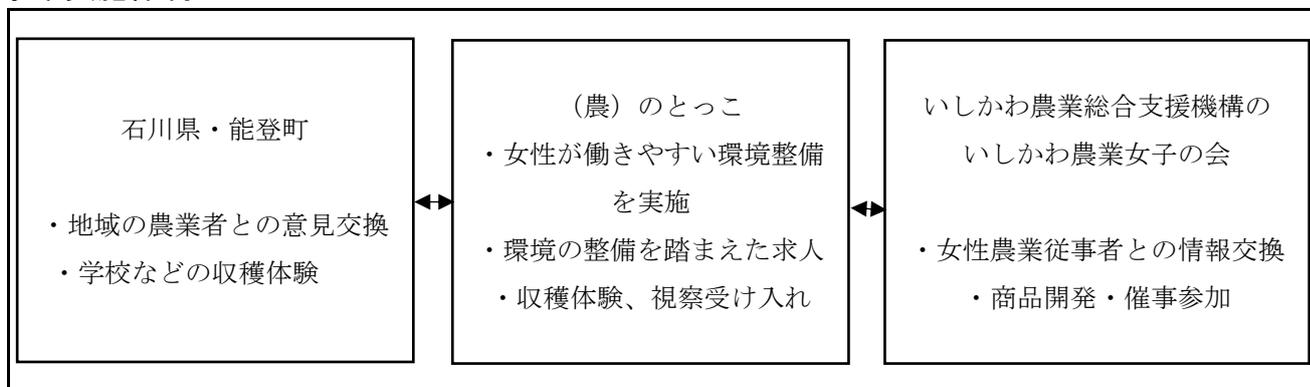
実施するメニュー (該当に○)	第4の(1) (施設等確保の取組)	○
	第4の(2) (グループの新たな取組)	

1 地域取組主体の概要

名称	農事組合法人 のとっこ	
所在地	石川県鳳珠郡能登町字寺分口部15-8	
代表者	代表理事 上野誠治	
主な組織の事業内容(注)	<ul style="list-style-type: none">・ 事業内容：菌床椎茸の栽培・生産及び加工・販売・ 従業員数：役員2名(うち女性1名) 正社員3名(うち女性1名) パート6名(うち女性6名)・ 経営規模：ハウス8棟 (年間菌床ブロック数：約65,000個)・ 農業関連事業：加工品の製造及び販売	女性農業者の 人数：8人

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制



(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

（1）地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】

・平成29年度にハウスを2棟増やし、女性を中心に収穫担当で雇用を増やしてきたが、年配の方もいます。過疎化、高齢化が進んでいる奥能登地区では、数年後の従業員確保が課題である。また、近年の資材価格、燃料代、電気代の高騰によって経費が増えている中、時給を含めた労働環境の整備へ投資することが難しく、現状のままでは女性の雇用の確保が課題である。

【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】

- ・女性従業員7名のうち、5名が収穫作業に従事。
- ・午前中の休憩時には、男女兼用の一つしかないトイレは順番待ちになっており、プライバシーが確保できず、従業員にストレスを与えているため、それらを解消し、しっかりとした休憩時間の確保が図れるよう、男女別トイレの確保が必要。
- ・繁忙期にはアルバイトなど従業員が増え、よりトイレでの混雑が増す。
- ・合併浄化槽を使用した綺麗な水洗トイレは、体も心もリフレッシュし、作業に取り組む気持ちを持続させ、労働生産性の向上に繋がる。また、トイレからの虫の発生が無くなり、ハウス圃場全体の衛生面の向上になり、農業のイメージアップにも繋がる。

【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

・汚いというイメージの農業を、トイレや休憩室など労働環境を改善することで、イメージアップを図り、農業に関心をもつ女性を増やす事が必要。また、最近では都会と田舎との2拠点生活、半農半X、週末農家など田舎と都会の暮らしを楽しむライフスタイルをする人が増えてきていることから、そのような人にも、弊社の仕事に関心を持って頂き、雇用に繋がるよう、働く環境の整備が必要。

（注）（2）、（3）の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画（実績）

確保する施設等の区分		①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他					
区分番号 (注1)	時期	確保場所	数量	利用する 女性農業 者の人数 (注2)	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
② 男女別トイ レ	R5.9	椎茸栽培ハウ スの横	男性用 1 女性用 1	8	3,219	2,926	
計			2	8	3,219	2,926	

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事する者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（3）において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画（実績）

取組区分		①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他					
区分番号 (注1)	時期	内容	実施 回数	参加する 女性農業 者の人数	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
計							

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開

4 本事業を活用した取組計画（注）

時期	取組内容・回数	備考
11月 適時	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥能登地区で働いている女性は主婦層の比率が高く、家事と仕事の両方をこなしておられます。そのような女性の方に、午前中勤務して頂き、午後は家事などの時間に充ててもらえる様に、収穫作業が午前中で終わるように作業人数の調整を行っています。このことは、女性の定着に繋がっています。 ・いしかわ農業女子グループに所属し、女性農業者と情報交換や研修会を行い、横のつながりを広げています。女性ならではの商品開発。販促イベント、催事に参加して、販路拡大の為に様々な活動をしています。今後も女性ならではの目線で農業の楽しさをPRしていきたい。 <p>【本事業を活用した取組の実施方針】</p> <p>弊社は、H29年度にハウスを2棟増設し、椎茸の生産規模を拡大しています。毎日収穫作業があり、女性パート従業員を中心に収穫しております。毎年冬期の繁忙期には人手不足になる為、期間雇用で女性を軸に2人ほど雇用しています。今年も冬期には2人ほど期間雇用を考えています。また、弊社は、収穫体験や視察の受入れを行っております。（コロナ過の為、縮小中）</p> <p>お客様がハウスに来られた時に、気軽に男女別水洗トイレを使用してもらおう。</p> <p>【具体的に実施する取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク等の求人情報の記載 ・地域農業者との情報交換 ・女性農業従事者との情報交換 ・学校の収穫体験 ・一般の収穫体験 	<p>【目標】</p> <p>採用面接等2件</p> <p>学校の収穫体験： 10月～11月頃 一般の収穫</p>

	・ 視察の受入れ	体験：随時 視察：随時
--	----------	----------------

(注) 3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標 (注)

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数 (注)	事業実施年度	2人
	事業実施翌年度	2人
	合計	4人
(女性農業者の新規確保人数の内訳)		
自営農業就業者	人、雇用就農者	人、アルバイト等
		4人

(注) 事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

(参考)

上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画 (第4の(1)「施設等確保の取組」のみ記載)
【事業実施年度】 (取組予定業務) 収穫作業 (採用時期) 令和5年12月から令和6年3月 (人数) 2人
【事業実施翌年度】 (取組予定業務) 収穫作業 (採用時期) 令和6年12月から令和7年3月 (人数) 2人

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。